

退職のあいさつ

お別れにあたって……

このたび、三月三十一日
で退職することになりました。感無量です。思い起すと、懐かしい事ばかりです。昭和五十七年に就職して始めて共作連全
国大会で京都へバス旅行したことや、夕

ケちゃん、ヨッチャン、ハ木君、テッチャンをオンボロサニ一ノ号で送迎したことなど

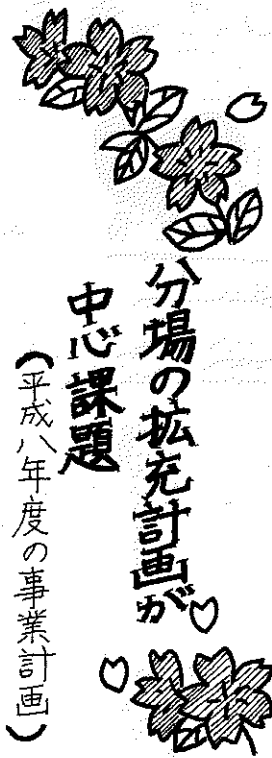
当時の柳田街道には柳の並木が中央分岐点に植えてありこぶしの周りは、砂利道でした。何んとも云えない風情がありました。パンクも何度かあり車も二台つぶしました。男体山を始めとする日光連山を見ながら宇都宮市の南端から東端への通勤でした。在職中はひとかたならずお世話になりました。

藤田 千代

平成八年度の事業計画としては、分場の独立整備が中心課題になります。分場を普通の通所授産施設に拡げるために、施設の増築を行うことが必要で、そのため準備、特に建設資金の調達が必要課題ですが、本年度には、けやき作業所建設委員会が原動力と

なり、多くの住民の方々の理解をいただき、この事業を推進させていくこととなります。建設委員会では、一般の募金の呼びかけや映画会などの開催を計画しております。多くの方々のご協力をお願いする次第です。

所長 住谷 佳裕



こぶしだより

第190号
発行 - 1996年3月29日
こぶし作業所(金)
宇都宮市柳田町1401
☎0286(62)1911

藤田さんと仲間たち……



ありがとうございました……

四角四面のコンピュータのおつき合いに、夜更けの蛙の声も聴きました。孤独な業務を支えてくれたものは、仲間の暖かい声かけや、眼差した、たものと思います。

今後、こぶし作業所も増々発展することでしょう。是非一致団結して乗り越えて欲しいと思います。私事、家族の看護の為、地域福祉の為にやりたいと思います。

皆様、永い間ありがとうございました。又、退職につきましては各御方面より暖かいご配慮頂き感謝に絶えません。御礼申し上げます。皆様の御健康御多幸をお祈り申し上げます。

建設委員会発足

去る、2月25日(日)、けやき作業所建設委員会が正式に発足。いよいよけやき作業所の通所、授産施設への転換へ最初の第一歩を踏みだしました。けやきこぶし作業所の職員、けやき作業所の父母の外、

後援会のみなさんにも集っていただき、20名程の参加で、今後の建設委員会の活動等、協議しました。

その中で確認されたことは、役員は選出はけやき作業所の後援会長、香山寛さんが

建設委員長に快く引き受けて下さり、事務局は、けやきの所長を局長にけやきの職員が受け持つ事になりました。副委員長は次回までに各町(芳賀町、市貝町、益子町)から一名ずつ選出し、そこにけやきの父母会の会長が加わる事になりました。

資金調達計画の協議では、募金、趣意書が作られ、一口三千円の建設募金をH8年度は、420万円(140口)を目標にとり、む事を確認しました。

まもなく皆様のお手元にも募金趣意書をお送りします。ご協力よろしく願います。

次回委員会は4月21日(日)です。参加の資格は問いませんので、広く、皆さんにご参加を訴えます。

共に手をとり、けやき作業所を育てていきましょう。
(成田)

新 作 業 導 入

ゴムのバリ取りの仕事で世話になっていく。シーアイ化成(株)市貝町よりオエ弾の仕事が入りました。

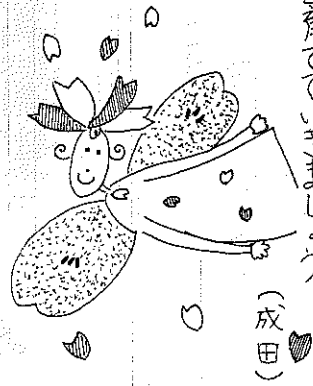
その仕事は、ガセットのバネ入れです。カセットとは、テープでなく、ビニールハウスのシートを骨にはさみ止めるためのものです。1コのカセットに2ヶ所溝があり、そこにバネをはめる作業です。工程が簡単で単価もよく、こぶしとけやき両方でやっています。

入ります。1カ月10万個の生産がありと見え、半分の5万個は確実にこなして行くかと頑張っています。ただ、バネを入れるのにコツがあるので、どちらの作業所も仲間を2人づつ選抜し作ることはもちろん、材料の管理も任せて、最後まで責任ある仕事をしてもらっています。
(金田)

おねがいします

アルミ缶不足!

みなさんのご協力でこの間、毎日缶つぶしが行える状況になってきましたが、その日ぐらしの状況は脱しません。引き続きのご協力をお願いします。
—こぶし、リサイクル班—



自治会選挙

こぶし

選出されました。早速委員会を開き選挙の日程を話し合いました。投票日を4月1日にすると決まりました。選挙運動期間中に春休みが入るので実質的な運動期間は短かいですがこぶしのなかで選挙一色に染まっています。選挙中の仲間の様子など詳しいことは来月号に書きますので今月はこれまでに

(田島)

自治会臨時総会が3月18日(月)に開かれ松永君、塚田さん、新田君の3人が選挙管理委員に

「けやき」の新しい役員を決める選挙が去る3月22日(金)に行なわれました。仲間の自主的な活動の場となる自治会。それをリードすべく役員選挙なのです。4年目を迎えるにあたり問題が発生しました。選挙管理委員を2名決め、11日(月)に告示、内容は定数4名、交付を11日(日)までとし、18日(日)19日(火)を運動期間、21日(木)立会い演説会、22日投票、開票としました。ところが受付最後日のメド30分前になってなんと立候補者は1名だけ。その後、職員に言われて2名が立候補。結局定数に満たないところが、自主的な本音の意味での立候補者は1名という現状に緊急選挙管理委員会を開き日程を変更しました。そして、みんがで話し合う時間を作り、自治会とは

立候補とはどのような内容で意見を交しました。19日(火)の10時をメドとし再度、受付すると5名の立候補者が相次ぎ、後は予定通り演説会、投票となり、新年度の新しい役員が4名決定しました。今回は投票用紙も、顔写真のコピーを載せるなど工夫も、し内容のあるものになりました。ではと、思います。しかしその反面、仲間がいかにか自分の意志、または要求を実現しながら生きていかなければ、たかが選挙に勝つに過ぎない、そんな選挙は改めて自治会活動の大切さを痛感しました。

新役員の出陣さん、職員や周りの人に左右されず、まずは自分達のやりたいことを、大いに楽しく実行して下さい。頑張れ、仲間たち

(金田)

う中を、マイククローバスは走り仲間たちはとても嬉しそうでした。食事の後、宝塚のようなショーを観て、夢のような時間を過ごした後、仲間たちに好評の「船」に乗って、帰ってきました。

仲間たちは雪景色に大満足のようでした。

(塩入)

「みんなで大地'96 3月」

平成8年度厚生省児童家庭局障害福祉課の予算案をみると新規事業の一つとして、グループホーム(精神薄弱者地域生活援助事業)の力所数が増えたことに加え、重度加算が目につきます。従来のグループホームの考え方は、一般就労の障害者が前提、つまり日常生活も自立している人たちの制度でしたが、これで重度の仲間たちも利用できる幅広い利用施設になる糸口ができたといえます。

重度障害者加算ができたということは福祉施設こぶし作業所に通所している障害者の利用も可能かと、栃木県障害福祉課に問い合わせたところ、現在厚生省に確認しているとのこと。私のほかにもこうした問い合わせがすでにあることを伺わせていました。

福祉施設に通所している重度障害者がグループホームを利用したい、という要求は、一般雇用が遅々として進まない中で関係者から強く出されてきたもので、重度障害者のノーマライゼーションの実現に一步を進めるものといえます。

単価については重度障害者1人あたり月6万3千4百円、従来の世話人1しに加え、もう1人のパートの配置が考えられ、同姓介護も可能になりそうです。一カ所に30人も40人も一緒に暮らすという不自然な既存の生活施設に対する批判として出てきたこのグループホームの制度。今後の発展が期待されるところです。

(鬼やんま)

所に通所している障害者の利用も可能かと、栃木県障害福祉課に問い合わせたところ、現在厚生省に確認しているとのこと。私のほかにもこうした問い合わせがすでにあることを伺わせていました。

福祉施設に通所している重度障害者がグループホームを利用したい、という要求は、一般雇用が遅々として進まない中で関係者から強く出されてきたもので、重度障害者のノーマライゼーションの実現に一步を進めるものといえます。

単価については重度障害者1人あたり月6万3千4百円、従来の世話人1しに加え、もう1人のパートの配置が考えられ、同姓介護も可能になりそうです。一カ所に30人も40人も一緒に暮らすという不自然な既存の生活施設に対する批判として出てきたこのグループホームの制度。今後の発展が期待されるところです。

(鬼やんま)

「けやき」

日笠山徹(はす)水沼のそみえ(は)がけやきに仲間入りしました。2人はこの3月に栃木県養護高等部を卒業し、以前から実習していたこともあり、もうすでに仲間仲間、は、人気者です。徹くんは「尾崎紀世彦の大ファン」のそみえは「かり者」話題も豊富で、けやきも以前に増して賑やかです。

(鈴木)

「実習生です」

滝口功一くん(18才)の3月野沢養護学校高等部を卒業しました。在学中の実習経験もあり、すうかりうち解けている功ちゃん、笑っている職員顔を見るとうおもしろいねえ」と、グウッラ笑い。ベアリングもゴム取りも指先にいっぱいの力をこめて頑張っている。ういっ、ういっ、若者です。今後ともよろしく。

(週一回：火木通所)河内町在住。

岸本文子さん(45才)H7年、大阪から南河内町に転居してこられました。大阪では7年間福祉作業に通っていたそうです。昨年11月から週2回の予定でJRとバスをとお母さんと一緒に乗り継いでいる。通る通るの通るの通るの距離と寒さの為か年が明けてから顔が見られて、いませんが暖かくなつらうとあの笑顔とおはようさんというやさしい声が聞こえるので、

(鈴木)

金田さん 塩入さん

ひっこしました。

321+32

宇都宮市清原台四丁目20-4

4月14日(日)に結婚式と挙げます。

みゆきハイソ202号 ☎ 028(667)9525

ある日の朝礼で、今度ゆうあいピックが開かれるので出場選手の申込みの依頼が、保護協会よりありますと報告がありました。それから散歩で早く走る仲間が誰か持入走では誰が長く走れるか、また休憩時間にはソフトボールやフリスビーを遠くまで投げられるのは誰かなどこぶしでわかには選手選考会が行なわれました。散歩の様子を毎日見

「ピック」

ある日の朝礼で、今度ゆうあいピックが開かれるので出場選手の申込みの依頼が、保護協会よりありますと報告がありました。それから散歩で早く走る仲間が誰か持入走では誰が長く走れるか、また休憩時間にはソフトボールやフリスビーを遠くまで投げられるのは誰かなどこぶしでわかには選手選考会が行なわれました。散歩の様子を毎日見

4月カレンダー

1日(月)	辞令交付式
6日(土)	休所
7日(日)	休所
13日(土)	休所
14日(日)	休所
20日(土)	休所 職員会議
21日(日)	休所
27日(土)	休所
28日(日)	日曜作業所
29日(月)	休所

赤ちゃん誕生

こぶし職員 杉庭さんが

3月26日 男の子を出産しました。

おめでとーございませう

名前は 犬翼 くんです。

「けやき」

日笠山徹(はす)水沼のそみえ(は)がけやきに仲間入りしました。2人はこの3月に栃木県養護高等部を卒業し、以前から実習していたこともあり、もうすでに仲間仲間、は、人気者です。徹くんは「尾崎紀世彦の大ファン」のそみえは「かり者」話題も豊富で、けやきも以前に増して賑やかです。

(鈴木)

「実習生です」

滝口功一くん(18才)の3月野沢養護学校高等部を卒業しました。在学中の実習経験もあり、すうかりうち解けている功ちゃん、笑っている職員顔を見るとうおもしろいねえ」と、グウッラ笑い。ベアリングもゴム取りも指先にいっぱいの力をこめて頑張っている。ういっ、ういっ、若者です。今後ともよろしく。

(週一回：火木通所)河内町在住。

岸本文子さん(45才)H7年、大阪から南河内町に転居してこられました。大阪では7年間福祉作業に通っていたそうです。昨年11月から週2回の予定でJRとバスをとお母さんと一緒に乗り継いでいる。通る通るの通るの通るの距離と寒さの為か年が明けてから顔が見られて、いませんが暖かくなつらうとあの笑顔とおはようさんというやさしい声が聞こえるので、

(鈴木)